



ほうへいかいほう

Vol.90 2023.3.15

豊平會報

北海学園大学同窓会 ● 編集責任者 / 木村勝照 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161



C O N T E N T S

- 2 令和4年 拡大全国支部長会議開催
- 3 卒業おめでとう
- 4 就職戦線 2022
- 5 2023年度 入試動向について
- 6 輝く北のまち紹介リレー 長沼町
- 7 卒業生奮闘記
- 8 新井春生君への追悼の想い
- 9 現役学生インタビュー
- 10 トピックス
- 12 クラブ・サークル活動通信
- 13 同窓生のお店探訪 / 学園オリジナルワイン発売
- 14 支部だより
- 15 支部現況・連絡先
- 16 事務局からのお知らせ

第27回北海道学生ラクロスリーグ戦決勝戦

写真提供：(株)ラボット

令和4年 拡大全国支部長会議 ～3年ぶりに開催～



2022（令和4）年10月22日（土）午後2時より札幌パークホテルにて「拡大全国支部長会議」を開催しました。コロナ禍で「全国支部長会議」、総会・懇親会「同窓の夕べ」の開催を2年続けて見合わせていましたが、特に影響が懸念される支部活動についての情報交換が急務であることから、飲食を伴わない会議形式で支部長、評議員、役員75名が出席しました。

木村勝照事務局長の開会宣言後、関寛会長より出席者への謝辞と挨拶、活動動向が報告され、今年度逝去された会員へ全員で黙祷を捧げました。

会議に先立ち、学校法人北海学園理事長・北海学園大学学長 安酸敏眞教授の「北海学園大学のこれから」と題した基調講演が行われ、現在の大学の様子や安酸教授の学長としての6年間の歩み、大学のこれからについて紹介されました。

会議は、木端会 岡田貴裕支部長よりホームページの紹介、社会貢献活動、アフターコロナを見据えた活動の仕方などの事例報告を皮切りに出席した支部代表者より活動報告と意見交換が行われました。

出席者名簿

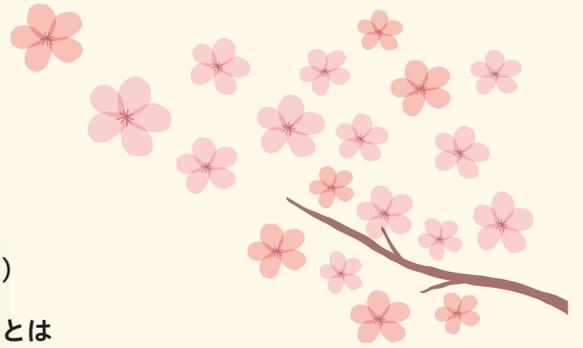
| 支部名 | 支部代表者 |
|----------|-------|
| 空知 | 小川朋栄 |
| 北見 | 爲近零央 |
| 根室 | 石田和仁 |
| 自衛隊 | 浅田哲治 |
| 札幌東区 | 佐藤寿一 |
| 北海学園大学 | 岡本泰典 |
| 東京支部首都圏会 | 岩井久則 |
| 道南 | 堀内博志 |
| 旭川 | 齋藤昂一 |
| 小樽 | 島口利一 |
| 北広島市役所 | 山田基 |
| 稚内 | 関根井憲吾 |
| 江別市役所 | 東嘉一 |
| 木端会 | 岡田貴裕 |
| 北杜会 | 山越明博 |
| 北翔会 | 長谷川直久 |
| 帯広信用金庫 | 阿部秀男 |
| ゆうほう会 | 板垣俊夫 |
| 関西 | 大久保明男 |
| 千歳 | 石塚雅樹 |

| 支部名 | 支部代表者 |
|---------------|--------|
| 東園会 | 武田一樹 |
| 会計学友会 | 照井俊夫 |
| サッカー部OB会 | 阿波昭則 |
| グリークラブOB会 | 辻井久幸 |
| 札幌南区 | 五味川博都志 |
| 江別 | 村松光男 |
| 経三期会 | 土井二郎 |
| 経五期会 | 藤野直也 |
| 経八期会 | 田中真 |
| 蝸牛会 | 梅本成利 |
| 支部評議員 | 氏名 |
| 関西 | 澤定夫 |
| 卒業期評議員 | 氏名 |
| 経Ⅰ・経/昭29(1期) | 藤原悦三 |
| 経Ⅰ・経/昭30(2期) | 関川和彦 |
| 経Ⅰ・経/昭31(3期) | 志村道弘 |
| 経Ⅰ・経/昭32(4期) | 早坂久良 |
| 経Ⅰ・経/昭37(9期) | 大越誠幸 |
| 経Ⅰ・経/昭40(12期) | 高橋功 |
| 経Ⅰ・経/昭44(16期) | 桑山健一郎 |

| 卒業期評議員 | 氏名 |
|---------------|------|
| 経Ⅰ・営/昭46(3期) | 桑山和夫 |
| 経Ⅰ・経/昭47(19期) | 佐藤周二 |
| 経Ⅰ・経/昭54(26期) | 小原正弘 |
| 経Ⅰ・経/昭59(31期) | 小林稔昌 |
| 経Ⅰ・経/平3(38期) | 諏訪勝宏 |
| 経Ⅱ・営/平2(22期) | 小川正人 |
| 法Ⅰ・法/昭42(1期) | 後平邦彰 |
| 法Ⅰ・法/昭56(15期) | 植木等 |
| 法Ⅰ・法/平8(30期) | 下段丞治 |
| 法Ⅱ・法/昭44(3期) | 岩木忠行 |
| 法Ⅱ・法/昭47(6期) | 佐々邦雄 |
| 工・土/昭47(1期) | 久瀧侑市 |
| 工・建/昭57(11期) | 引地俊一 |
| 工・土/昭59(13期) | 田辺博行 |
| 工・建/平5(22期) | 大元敏和 |
| 工・土/平7(24期) | 木内順司 |

| 役員 | 氏名 |
|----------|-------|
| 会長 | 関寛 |
| 副会長 | 宮本雅次 |
| | 大澤定雄 |
| | 板垣俊夫 |
| | 城秀夫 |
| | 日和哲志 |
| | 小林米三郎 |
| 幹事 | 桑山博年 |
| | 杉山隆俊 |
| | 堀田昌資 |
| | 左近秀章 |
| | 村口康博 |
| | 佐藤礼仁 |
| | 馬場康広 |
| | 佐藤進一 |
| | 須田勝一 |
| | 白鳥健志 |
| 濱川俊久 | |
| 事務局長(幹事) | 木村勝照 |
| 監事 | 高岡昌和 |
| | 櫻田久 |

卒業おめでとう



卒業生の声

- Q1 | 学園大に入って良かったこと
- Q2 | 大学で頑張ったこと
- Q3 | 4月からは… (進路など)
- Q4 | あなたにとって「仲間」とは

経済学部地域経済学科 **田中 翔梧**

所属ゼミ/宮入隆ゼミ
所属サークル/柔道部



- Q1 | 学内講座やキャリア支援センター等の就職活動の支援が手厚いことです。頑張る人を全力でサポートして下さる環境があるため安心して臨むことができました。
- Q2 | 部活とゼミ活動です。部活では柔道部に所属し全国大会にも出場しました。ゼミでは地域研修を通じ地域活性化についてしっかりと考えることができ、就職活動での強みになりました。
- Q3 | 北海道職員として働きます。勤務地や部署はまだ決まっておらず不安はありますが、学生生活で得たことを活かし北海道に貢献していきます。
- Q4 | 多くの刺激をもらい、そして支え合うことができる存在です。コロナ禍での大学生活を共に助け合い乗り越えたかけがえのない存在なので、卒業後も交流を続けていきたいです。

人文学部英米文化学科 **堀田 実咲**

所属ゼミ/Jeremie Bouchard ゼミ
所属サークル/ロシア研究同好会



- Q1 | 留学制度が整っているところ。また、幅広く興味のあることについて学べるところ。それに伴って、関心事が増え、知識が広がった。
- Q2 | 時間を最大限活用したこと。たくさん文章を読み、知らない土地に足を運び、色々な映像を見たり、作ったり、描いたり、様々な職種のアルバイトに就いたりしたことで知識も経験も身につけ、やりたいことを見つけることができました。
- Q3 | テレビ業界で撮影助手として働きます。本来やりたかった編集マンも目指しつつ、まずは目の前の仕事を覚えることから頑張りたいです。
- Q4 | 不安や悩みを相談できて、信頼できる人。尊敬できる人。

経営学部経営情報学科 **西出 翼**

所属ゼミ/春日ゼミ
所属サークル/北大系野球サークル



- Q1 | キャリア支援センターの支援が手厚いことです。単独合同企業説明会や様々なセミナーの開催など多くのイベントがあったので、就職活動で非常に助かりました。
- Q2 | 新しいことに挑戦することです。就活や課外活動などで新たなことに挑戦し、多くの知識や経験を積むことができました。
- Q3 | 銀行員として働きます。北海道の発展に貢献するために、日々勉強し、様々な経験を積みながら成長していきたいです。
- Q4 | 苦楽を共にする存在です。どんな時も仲間がいたから乗り越えてこられたと思っています。環境は変わりますが、これからも大切にしたいです。

工学部・社会環境工学科 **熊谷 文斗**

所属ゼミ/安藤卒業研究室



- Q1 | 卒業時と同時に「技術士補」の資格を取得できることです。また、学部を越えて多くの仲間に出会えたことです。
- Q2 | 大学では学業に力を入れました。どの科目も奥深く、主体的な学習が欠かせませんでした。
- Q3 | 4月からは、建設コンサルタント会社に就職します。大学の講義や研究を通して学んだことを生かして頑張ります。
- Q4 | 私にとって仲間とは、お互いに想いやり、高め合える関係性の人達です。

法学部政治学科 **室山 瑠伽**

所属ゼミ/村上愛ゼミ (3年)
鈴木光ゼミ (4年)



- Q1 | 様々な価値観やバックグラウンドを持つ方と出会えた点です。視野が広がっただけでなく、人の気持ちに寄り添うことができるようになりました。
- Q2 | 学業とアルバイトの両立です。この経験を通じて、時間の使い方や根性、ストレス耐性が身についたと感じます。
- Q3 | 検察事務官として働きます。大学で学んだことを活かし、勉学を怠ることないよう日々精進します。
- Q4 | 楽しいことは勿論、辛いことや悲しいことも共有できる存在です。仲間の支えがあったからこそ、充実した大学生活を送ることができました。

大学院経営学研究科 **齋藤 健**



- Q1 | 経営学という新しい知識の学びや新しい視点を知ることができたことです。組織の事、お金の事、人の事など生きていくうえで大切なことを学びました。
- Q2 | 知識の暗記ではなく、学んだ知識を実際の場面に置き換えて自分の頭の中で解釈をして、実務で活かせるようにしたこと。
- Q3 | 社会人学生、院生だったので、今の職場で働き続けます。
- Q4 | 北海学園大学卒業の方をテレビや新聞で見ると、同期ではなくても近くに感じます。やはり、時代は違っても同じ学舎で学んだ方だと思うと親近感を感じ、仲間意識が芽生えます。



就職ガイダンス

就職戦線 2022

キャリア支援センター長 春日 賢

ロシア・ウクライナ間の紛争や円安の進行、物価の上昇など、経済情勢は不透明感を増していますが、企業は依然として高い採用意欲を示しています。もちろん業界による温度差はありますが、全体としては人手不足による「売り手市場」は今年も続いています。文部科学省と厚生労働省の共同調査によると、令和4年10月1日現在、大学生の就職内定率は74.1%で、前年同期比2.9ポイントの上昇でした。本学でも、2022年12月1日現在、例年以上に多数の求人が寄せられています。この時期になっても企業が旺盛な採用活動を行っているのは、うまく採用し切れていないことの現れといえます。

学生にとっては採用を獲得しやすい状況にあります。が、必ずしもすべての者がそうではありません。いくら人手不足であっても、企業は採用基準を下げていないからです。「採用される学生」と「そうでない学生」で明暗が分かれ、前者がいくつも内定をもらう状態となっています。これは今年にかぎった話ではありませんが、「採用される学生」となるためにはやはり自ら早く動いて準備することが必要です。

コロナ禍での就職活動も、今年でもう3年目です。徐々に部活動などの課外活動も再開されていますが、就職活動開始までに自己アピールとなる「学生時代に力を入れていたこと」(ガクチカ)をつくれなかったというのが一般的な傾向です。人と接する機会が減ったことで他者に刺激されることがなくなり、将来が不安だけれども何もできない、やりたいことが見つからないという学生も少なくありません。面接もオンラインが一般化した結果、逆に対面に慣れていないという事態を招いています。

このような状況を踏まえ、本キャリア支援センターではガクチカ作成や就活の軸作成などのセミナー、模擬面接、業界・企業研究、学内企業説明会をはじめとして、学生のニーズに合った各種イベントを多数開催しています。個別のキャリア相談も受け付けていますので、ぜひ活用ください。



マナー講座

2023年度

入試動向について

入試部長 鈴木 聡士

工学部土木工学科 26 期 T 組卒業の鈴木聡士です。入試部長という立場で、この原稿を書く機会を頂きましたこと、同窓生としてとてもうれしく思っております。

2023 年度入試も新型コロナウイルス感染症の影響下で実施されましたが、5 類への移行が予定されている状況にあることから、慎重な対応を行うことを前提に、ウイズコロナを意識しながら対策を検討・実施し、可能なかぎり通常状態への回帰を心掛けました。幸運にも、一般選抜（2 月 9 日～12 日）は感染状況が落ち着いた状況となりました。

「超安全志向」と呼ばれる傾向がより一層加速し、年内合否決定となる入試制度への出願傾向が明確になっています。本学も、推薦型選抜への志願者数が高止まり状態です。このような受験生のトレンドに対応するために、様々な改革案を現在検討中です。

昨年度は、大学入学共通テストが大幅に難化したことにより、本学への志願者数が大幅に増加しました（一般選抜：4,711 人（昨年度比+ 6.4%）、大学入学共通テスト利用選抜（1 期）：2,246 人（昨年度比+ 14.1%）、計 6,957 人（昨年度比+ 8.8%））。今年度は、共通テストの難易度が例年並みとなったことから、その反動で志願者数が減少しました（一般選抜：4,286 人（昨年度比- 9.0%）、大学入学共通テスト利用選抜（1 期）：2,068 人（昨年度比- 7.9%）、計 6,354 人（昨年度比- 8.7%））（表 1 参照）。

しかし、表 1 の前々年比（2021 対 2023）の結果を見ると、99.4%（- 0.6%）となっており、ほぼ横ばいの状況が続いています。これに対して、道内 18 歳人口の前々年比（2021 対 2023）は 94.4%（- 5.6%）であることから、18 歳人口のパイが縮小する中であっても、本学の志願者数は、ほぼ横ばいの状態を維持することができております。本学の入試にご尽力いただいた関係各位の努力のおかげです。改めて、御礼申し上げます。

さて、入試を取り巻く大きな変革期が訪れています。これは、補助金不支給の基準が、「入学定員超過率」から、「収容定員超過率」に変更になったことです。単年度で入学者数が入学定員の 1.2 倍を超過した場合、今までは即時不支給でしたが、これが 4 年間全体の収容定員の超過率に改められたことにより、単年度での超過は問題とはなくなりました。これにより、合否の判定における入学者

表 1 2023 年度一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜（1 期）志願状況

■一般選抜

| 学部・学科 | 募集人員 | 志願者数 | | | | | | |
|--------------------|------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|----------|
| | | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 | 前年比 (人) | 前々年比 (人) | 前年比 (%) | 前々年比 (%) |
| 経済学部 (経済学科・地域経済学科) | 160 | 1,247 | 1,194 | 1,104 | - 90 | - 143 | 92.5% | 88.5% |
| 経営学科 | 69 | 531 | 555 | 549 | - 6 | 18 | 98.9% | 103.4% |
| 経営情報学科 | 55 | 310 | 417 | 410 | - 7 | 100 | 98.3% | 132.3% |
| 法学部 (法律学科・政治学科) | 130 | 680 | 793 | 655 | - 138 | - 25 | 82.6% | 96.3% |
| 1 部 | | | | | | | | |
| 日本文化学科 | 51 | 252 | 291 | 173 | - 118 | - 79 | 59.5% | 68.7% |
| 英米文化学科 | 46 | 233 | 242 | 187 | - 55 | - 46 | 77.3% | 80.3% |
| 社会環境工学科 | 23 | 103 | 133 | 115 | - 18 | 12 | 86.5% | 111.7% |
| 建築学科 | 20 | 125 | 154 | 138 | - 16 | 13 | 89.6% | 110.4% |
| 電子情報工学科 | 35 | 182 | 194 | 176 | - 18 | - 6 | 90.7% | 96.7% |
| 生命工学科 | 20 | 88 | 107 | 102 | - 5 | 14 | 95.3% | 115.9% |
| 1 部計 | 609 | 3,751 | 4,080 | 3,609 | - 471 | - 142 | 88.5% | 96.2% |
| 2 部 | | | | | | | | |
| 経済学部 (経済学科・地域経済学科) | 52 | 273 | 201 | 220 | 19 | - 53 | 109.5% | 80.6% |
| 経営学科 | 50 | 153 | 140 | 164 | 24 | 11 | 117.1% | 107.2% |
| 法学部 (法律学科・政治学科) | 72 | 177 | 216 | 216 | 0 | 39 | 100.0% | 122.0% |
| 日本文化学科 | 14 | 44 | 40 | 49 | 9 | 5 | 122.5% | 111.4% |
| 英米文化学科 | 10 | 29 | 34 | 28 | - 6 | - 1 | 82.4% | 96.6% |
| 2 部計 | 198 | 676 | 631 | 677 | 46 | 1 | 107.3% | 100.1% |
| 合計 | 807 | 4,427 | 4,711 | 4,286 | - 425 | - 141 | 91.0% | 96.8% |

■大学入学共通テスト利用選抜（1 期）

| 学部・学科 | 募集人員 | 志願者数 | | | | | | |
|--------------------|------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|----------|
| | | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 | 前年比 (人) | 前々年比 (人) | 前年比 (%) | 前々年比 (%) |
| 経済学部 (経済学科・地域経済学科) | 30 | 252 | 340 | 277 | - 63 | 25 | 81.5% | 109.9% |
| 経営学科 | 45 | 304 | 333 | 297 | - 36 | - 7 | 89.2% | 97.7% |
| 経営情報学科 | 45 | 207 | 162 | 317 | 155 | 110 | 195.7% | 153.1% |
| 法学部 (法律学科・政治学科) | 30 | 200 | 261 | 216 | - 45 | 16 | 82.8% | 108.0% |
| 1 部 | | | | | | | | |
| 日本文化学科 | 12 | 122 | 199 | 128 | - 71 | 6 | 64.3% | 104.9% |
| 英米文化学科 | 12 | 146 | 212 | 169 | - 43 | 23 | 79.7% | 115.8% |
| 社会環境工学科 | 10 | 165 | 134 | 127 | - 7 | - 38 | 94.8% | 77.0% |
| 建築学科 | 12 | 136 | 151 | 135 | - 16 | - 1 | 89.4% | 99.3% |
| 電子情報工学科 | 10 | 230 | 248 | 213 | - 35 | - 17 | 85.9% | 92.6% |
| 生命工学科 | 12 | 148 | 127 | 128 | 1 | - 20 | 100.8% | 86.5% |
| 1 部計 | 218 | 1,910 | 2,167 | 2,007 | - 160 | 97 | 92.6% | 105.1% |
| 2 部 | | | | | | | | |
| 日本文化学科 | 6 | 29 | 41 | 38 | - 3 | 9 | 92.7% | 131.0% |
| 英米文化学科 | 6 | 29 | 38 | 23 | - 15 | - 6 | 60.5% | 79.3% |
| 2 部計 | 12 | 58 | 79 | 61 | - 18 | 3 | 77.2% | 105.2% |
| 合計 | 230 | 1,968 | 2,246 | 2,068 | - 178 | 100 | 92.1% | 105.1% |
| 志願者数合計 | | 6,395 | 6,957 | 6,354 | - 603 | - 41 | 91.3% | 99.4% |
| 道内 18 歳人口 | | 45,007 | 44,276 | 42,489 | - 1,787 | - 2,518 | 96.0% | 94.4% |

* 経済学部・法学部は学部単位の募集です。

数予測の難易度が大幅に低下しました。しかしこれは、本州大手大学との競争激化を意味します。学内の皆さんと力を合わせて、このような荒波をしっかりと乗り越えられるように、不断の努力で入試制度などの改革を実施していきたいと思っております。今後とも、お力添えのほど、よろしく申し上げます。

輝く北のまち 紹介リレー



ながめまちょう
⑮ 長沼町

～ひとと自然の共生 きらめく田園と交流のまち～

人口：10,159人
面積：168.52km²
(令和4年12月末現在)



長沼名物
ジンギスカン

齋藤 良彦
長沼町長

経済学部1部経済学科
第32期・昭和60年卒業



道の駅マオイの丘公園農産物直売所

長沼町は、石狩平野の南東部に位置し、道都札幌市からは南東へ32kmの位置にあり、新千歳空港がある千歳市の北に接する、人口10,192人（令和4年10月末現在）の町です。

明治20年に岩手県人で奥州市（高野長英、後藤新平を輩出。ロサンゼルス・エンゼルスで活躍中の大谷翔平選手も出身。昭和48年長沼町と姉妹都市締結）出身の吉川鉄之助（長沼村初代戸長）らが入植、開拓が始まって今年で136年となります。

産業は農業が中心で耕地面積11,200haを有し、米、小麦、大豆を始め、野菜や果樹の生産や花の栽培、酪農業、畜産業も盛んで北海道農業の縮図を見ることができます。

現在、道央圏連絡道路、北広島ボールパークと連携した企業誘致や遊休町有地等の利活用など、持続可能な地域づくりに向けた各種施策を進めているところです。昨年は学校跡地に「(株)キャメル珈琲」の工場誘致を行い、その工場が昨年8月に竣工いたしました。同社はながめま温泉や道の駅の指定管理者にも選定されており、昨年は町との共同事業で道の駅のリニューアルを実施したところです。また、農産物直売所の建て替えにも着手しており、今春からのオープンを目指しております。

また、馬追丘陵を中心に、温泉、キャンプ場、農家レストラン、カフェ、農産物直売所、



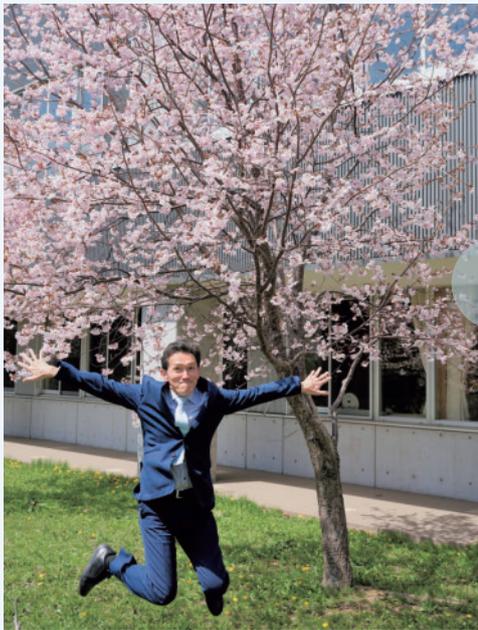
大豆の生産量日本一を誇る長沼町の特産品「源泉豆腐」

どぶろく醸造所やワイナリーなどが点在し、町外からの来客で毎日賑っており、都市と農村との交流活動の実践や、自然と調和した安全で安心な農産物を消費者に提供することにより魅力ある町づくりを進めています。毎年のように新しいお店がオープンしておりまして、カフェ巡りのあとに新鮮な野菜をお土産として買って帰るなど、ちょっとしたドライブで訪れ、日頃の疲れをリフレッシュするのにも最適なまちだと思います。

私は、昭和60年3月北海学園大学を卒業、同年4月から長沼町役場に就職、各部署を勤務し、平成28年から副町長を勤め、令和2年に町長に就任しました。町の目指す姿を「ひとと自然の共生 きらめく田園と交流のまちながめま」と掲げ、産業振興や企業誘致、移住定住などの本町独自の『ながめま創生』に取組み、人口減少を抑える「人口の安定化」対策を積極的に行い、いつまでも安心して住み続けられる、豊かなまちづくりを目指し、各種施策に取り組んでいます。

先人から学び、先人から受け継いだ開拓者精神で新たな事業に取り組み、長沼町発展のため挑戦を続ける毎日です。

現役学生の皆さん、失敗を恐れず、何事にも挑戦して下さい。失敗もまた人生の糧となります。4年間の学生生活が楽しく、意義あるものとなりますことをお祈りいたします。また、長沼町にも是非お越し下さい。お待ちしております。



卒業生奮闘記

北海道有朋高等学校長 兼
北海道高等学校遠隔授業
配信センター長

元紺谷 尊広

MOTOKONYA Takahiro

法学部 1 部法律学科
第 20 期・1986 (昭和 61) 年卒



■プロフィール
昭和 38 年 1 月 18 日生まれ、芦別市出身。
昭和 57 年 4 月北海学園大学法学部 1 部に入学。昭和 61 年 3 月卒業。
昭和 63 年 4 月から道立高校の教員として 3 校 14 年間勤務。その後北海道教育委員会の仕事に就き道立教育研究所、教育局、本庁高校教育課等で 13 年間勤務。平成 27 年 4 月から再び道立高校に戻り根室西高校長、平成 29 年 4 月から稚内高校長を歴任。令和 2 年 4 月に現職の北海道有朋高等学校長に就任。令和 3 年 4 月から北海道高等学校遠隔授業配信センター長を兼務。令和 4 年 3 月から文部科学省中央教育審議会教育振興基本計画部会臨時委員も務めている。令和 3 年 4 月から北海学園大学豊陽会第十六代会長。

■大学デビューはジョン・トラボルタ！？

教育大を不合格。北海学園大学に拾ってもらう。母子家庭で学費以外は奨学金とアルバイトの苦学生、といったら聞こえはいいが……。当時はディスコ全盛期。田舎から出てきた者にとって釈迦曼荼羅は刺激的過ぎた。2 年のとき必修の吉田敏雄先生の「刑法 I」を落とした。BGM にサタディ・ナイト・フィーバーが流れていた (笑)。そこで 3、4 年は吉田ゼミを志願。入ゼミの条件が先着順ときた。前日の夜から駐車場待機。解錠と同時に研究室の扉の前に陣取る。追隨する者は誰もいない。やる気 (?) を買われ吉田先生からゼミ長を拝命。

■先輩の熱い講義で再び教職を目指す

教職を諦めていた私の心に再び火がついた。3 年のときの社会科教育法の講義。講師は学園大卒の釣部先生。市内の私立高校に勤務されていた。もし出会っていなければ今の自分はない。先輩の熱く語る教育論に元氣と勇気をいただいた。教採 3 度目で登録。昭和 63 年 4 月から晴れて教職の道を歩む。道立高校 3 校を経験。(有朋、網走南ヶ丘、室蘭栄)。この間、担任として卒業生を送り出したのはたったの 2 回。担任の時には学級通信を毎日発行。学級の様子や生徒のことをよく見ていないと書けない。観察力だけだった。クラスの生徒、保護者はもちろん他のクラスの生徒も読んでくれていた。

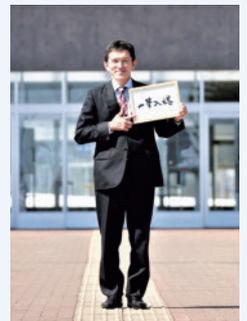
■私を変えた貴重な行政経験

教員 15 年目、道教委の指導主事に転職 (?。「自分の発する言葉は道教委の言葉」とも窮屈。胃潰瘍で入院した。何度も挫折しそうになった。上司への報告、連絡、相談、相談電話の対応、クレーム処理、何一つ一人前にできない。鼻っ柱をへし折られた。あのまま教員をしていたらきっと天狗になっていた。平成 20 年から 3 年間、本庁高校教育課に勤務。北海道の高校教育の要。課題を整理し本質を見極め案を立てる。頭がしびれるほど考えた。膨大な仕事量に押し潰されそうになった。庁舎で朝を迎えることもあつ

た。仕事のイロハ、謙虚さ、段取り力、組織的な動き方を学んだ。

■校長として、センター長として

平成 27 年 4 月からは根室西、稚内の校長を経験。令和 2 年 3 月 4 日、学園大 OB の佐藤嘉大教育長から内示。「有朋高校に行ってもらおう。遠隔授業配信センターを立ち上げ軌道に乗せて欲しい」と。4 月に着任。ご挨拶に伺おうと思っていた矢先に、佐藤教育長の訃報。信じられなかった。涙が止まらなかった。佐藤教育長の遺志を胸に令和 3 年 4 月センターを開設。27 の小規模校に授業を配信。本校の副校長、教頭、事務長も学園大 OB。学園大の強みは「明るさ」と「タフさ」。抜群の機動力で学校経営ができるのは嬉しい。



学校 HP 校長挨拶の頁に使用している写真。「一筆入魂」は「イビツツモトコン」と読ませる。学級通信のタイトルでもある

■もう一つの繋がり豊陽会

「豊陽会」は豊平会の支部の一つ。学校の教職員を会員とする同窓の組織。令和 3 年 4 月からその会長を務めている。豊陽会は、「ほんわかで、じんわりと、おだやかで、ゆるやかなもう一つの繋がり」を目指し、研修会を通して若手のネットワークづくりと後輩支援に力をいれる。志のある者が集い、この繋がりをご縁に自らの人生を、仲間的人生を、さらには後輩の人生をより豊かにしたい。



豊陽会「オンライン研修会」



豊陽会の Facebook

北海学園大学は、同窓生 故 新井春生様(経済学部1部経営学科第5期・昭和48年卒業)から令和3年に、多額の寄付を頂戴しました。この度はご本人の御冥福をお祈りし、感謝の意を込めて生前親交のあった佐藤寿一札幌東区支部長(経済学部1部経済学科 第20期・昭和48年卒業)に追悼文をお願いしました。

新井春生君への追悼の想い

—池田ゼミナール同期仲間より—

札幌東区支部長 佐藤 寿一

経済学部1部経済学科 第20期・昭和48年卒業

新井春生君の訃報に接したのは『北海学園大学 学報』2022年6月1日第130号の2面で「教育振興資金へ遺贈寄付」の見出しであります。

大学同期の友人に確認をするとこのコロナウイルス状況下、新聞欄、友人等にも連絡をしなかったとのこと。2020年の年末から入院して2021年11月に亡くなったとのことでした。

新井春生君とは昭和44年入学同期、池田善長ゼミナールで2年間学生生活を共にした友人であり卒業後もコロナ状況前には毎年プチ懇親会を開き、10月の大学同窓会懇親会にも同席して学生時代の思い出また近況報告をする仲間でした。

大学生生活を振り返ると当時(昭和44年～48年)は札幌オリンピックに象徴される右肩上がりの高度成長期で日本列島改造論がにぎやかになろうとした時代でした。このような時代背景のなかでゼミナールの志望先はどこにしようかと思案。当時は姥名ゼミか池田ゼミか先輩からの推挙もあり北海道はこれから開発の時代、地域開発政策論、青函トンネル推進者の池田善長教授率いる池田ゼミナールに入ることができました。

ゼミナールでの思い出は同期の学友と共に東北学院大学との討論会で北海道と東北の農業開発政策の違いを論戦した思い出が懐かしく思い出されます。ゼミ内の就職活動も盛んで池田ゼミの同期仲間は官庁就職希望者も多く石狩市役所の新井春生君、一番親交のあった道庁教育委員会の菅徹君、北広島市役所の古宇田昇克君、札幌市役所の三佐川公孝君と酒席の場では池田先生は面倒見の良い教授だったよなあと。

就職活動についても5人のメンバーに個別面談して自筆で丁寧に推薦状を皆に出していただいたこと一同感謝です。

私事で恐縮ですが私の就職先も建設会社、道路工業株式会社に池田善長先生の自筆推薦書を携え道路工業(株)の当時道路工業専務(現道路工業(株)中田良孝会長)に、君は池田ゼミ出身か? この池田教授はすばらしいと言われた記憶があり、その甲斐もあってか入社させてもらい、ゼミ5人全員がこの池田善長教授の推薦状効果で入社できたと感謝していました。

50年前に卒業し互いに就職先は違っていても何年か後に偶然に出会う機会が多い。私と石狩市役所に就職した新井君もそうである。土建屋の私と石狩市役所から派遣された西部水道事業団でバツリ出会い、それから毎年付き合いがあり、新井君から誘いを受けてゼミ仲間のプチ懇親会に参加させていただくことになり、その新井君が先立たれてしまった。

2022(令和4)年10月22日、北海学園大学同窓会「拡大

全国支部長会議」の安酸敏真学長基調講演にて、「2021(令和3)年度の教育振興基金への大幅な増額は、新井春生さんから1億を超える遺贈があったことによるものです」との説明がありました。

思い出せばプチ懇親会で菅徹君が新井君に嫁を紹介したのに新井チューの野郎が断りやがってと、後談では新井君もあの時嫁をもらっておけばよかったかなあなんて言ってたけ……。

確かに病気も早期発見早期治療が一番。もし家族がいたらと思うと残念です……。

彼は生涯独身でしたが普段の生活も質素で、趣味は囲碁等ですが貯蓄も趣味で蓄財には長けていたようです。酒席でも「株式投資は投機でなく投資だよ」との言葉を口癖のように話していた彼の堅実な性格が記憶によみがえります。ですから彼は再任用もせず退職後は悠々自適の生活を送っていたと思います。

彼が入院してから大学に初回の寄付をするわけですが、最終的に「多額の遺贈」というかたちで、この意思行動の崇高さと同時に鮮烈な驚きをもって感じたところでした。

最近「社会貢献、地域貢献」という言葉を聞く機会が多くなりました。「ボランティアと寄付は社会貢献の両輪」とであると言われてます。ボランティアは自らが活動する、寄付はお金を人に託す支援方法という考え方であり、多くの活動や団体がある中で、自分が共感する活動や団体に寄付をすることは、自分がこうあってほしいと望む未来を選んでいる行為であるとも言えます。このようにして、寄付は自己実現欲求を満たす一つの方法になり得ます。寄付は、その結果や効果を自分の目で見ることができます。

しかし、遺贈寄付は亡くなった後の寄付ですので、残念ながら自分で確認することができません。新井春生君の遺贈寄付は、自分が亡くなった後の未来を創っていく活動や団体を応援することですので、自己実現欲求のさらに上の次元、まさに「究極の自己実現」であり「究極の社会貢献、地域貢献」ではないでしょうか。

池田善長教授も他界されて40年の歳月が流れました。まさか池田先生も教え子からこのような人財がでるとは思いもしなかったでしょう。彼の多額の遺贈寄付は私も同じゼミの仲間の一員として大変誇りに思っているところです。

人間なにがきっかけでどのようになるかわかりませんが「人の一生は人の出会いを通して生き方を探る」と言われています。

新井春生君、池田善長教授のご冥福を祈るとともに、この遺贈寄付が北海学園大学の次世代を育てる一助に寄与し発展を願うところです。

Interview>>>



現役学生
インタビュー

強くなればなるほど、
卓球の魅力が
見えてきます

北海道学園大学卓球部 主将
川瀬 仁志 さん
(工学部社会環境工学科3年)



2021年度北海道新人学生卓球選手権大会男子ダブルス3位、同大会2022年度男子ダブルス2位。2021年第87回全日本総合卓球選手権大会出場など、全道のトップレベルで活躍する卓球部主将の川瀬仁志さんに、挑戦する思いを聞きました。

—大学生活が始まった2020年から2年間は、コロナ禍での厳しい日々でしたね？

大学生活は、想像もしていなかったスタートになりました。卓球の前にまず勉強の仕組みや講義の選び方など、よく分からないことが多くて戸惑いました。でも私の場合は入学前に卓球部の練習に参加することができていたので、そのとき繋がった先輩たちにいろいろと聞くことができて助かりました。

当初部活は全学的にほとんどできない状態で、卓球部では夏から部員が集まったの練習が始まりましたが、換気や消毒に気をつけながら90分に制限されたものでした。道内外の大会ももちろん中止です。

2年生になって大会も少しずつ開かれるようになって、北海道の新人戦で3位(男子ダブルス)に入ったり、全日本の大会(埼玉県所沢市)も経験することができました。そして2年の冬から主将になりました。3年生になった今年(2022年)はほぼ例年通りの活動に近くなり、6月には東北遠

征(東北学院大学との総合定期戦)も実現しました。東北学院大学ほどの運動部も強くて、卓球部も負けが続いていたのですが、団体戦で久しぶりの勝利をおさめてうれしかったです。

去る11月(2022年)の北海道秋季学生卓球選手権大会では、男子団体1部で4位。男子ダブルス(川瀬・杉本憲治)で2位になりました。主将の仕事のひとつは、まず自ら勝つことだと考えているので、優勝まであと一步の悔しさを、来季への力に変えていきたいと思います。

—卓球を始めた経緯は？

小学校高学年から始め、中学には卓球部がなかったので、琴似のクラブチームで本格的に始めました。高校時代には北海道高等学校卓球選手権のシングルスで3位になりました。

伝統ある北海道学園大学に進学して卓球をすることに迷いはありませんでした。いま部員は男子15名。ふだんは週5回、打球練習やゲーム練習で3時間くらい汗をかいています。トレーニングの基本は、各自が課題を持ってそれぞれに取り組み、私やメンバーがアドバイスや意見を言います。卓球は基本的に個人競技なので、ひとりひとりの個性や考え方が重要です。強くなって試合に勝つ、という目標はひとつでも、部として狭い意味のひとつのやり方や考え方を強

制するつもりはありません。

コロナ禍によってふだんの練習などでOBの皆さんとの接点が薄れてしまったことは残念ですが、現在の総監督もOBですし、直接間接に、卓球部の歴史や伝統を、部員たちは自然と意識しています。

—近年はブームと言ってよいほどの盛り上がりだと思えますが、競技としての卓球の魅力はどんなところにありますか？

私は体が大きいわけでも特別パワーがあるわけでもありません。でも卓球はまず、小さい選手も大きな選手も同じ舞台でフェアに戦えるのが面白いと思います。ゲームで対戦する相手はそれぞれに个性的で、そういう相手とネットごしに、知恵と力と技術をフル動員しながら駆け引きを交わすことが醍醐味です。勝ち方はひとつじゃないのです。

遠征費を稼ぐため、札幌市の体育館で市民向けのコーチのアルバイトをしています。そこでは老若男女いろんな方がそれぞれのペースで卓球を楽しんでいます。日本と中国の代表が戦う世界最高峰の熱い卓球がある一方で、誰もがいくつになっても気軽に楽しめる卓球もある。卓球は生涯スポーツなのです。また、技術や戦術を人に教えることは、自分自身を振り返ることにもなって、いろいろな学びが得られます。

森本正夫前同窓会長の胸像建立にかかる寄付のお願い

昨年6月の評議員会でご承認いただいた、胸像建立は先生の三回忌（令和5年6月1日）を前に下記のとおり進めております。

建立者 森本正夫先生顕彰委員会
(学校法人北海学園・北海学園大学同窓会・北海商科大学同窓会・森本ゼミ会)

建立予定 2023（令和5）年5月

建立場所 教育会館（北海学園大学豊平キャンパス）1階

費用 総額332万円で80万円の負担を見込んでおります。

期間 令和5年3月～5月末

振込口座 1口5千円から

・ゆうちょ銀行 二七九店 口座番号 / 当座 0011355
・受取人名 / 北海学園大学同窓会事務局

◎振込票の通信欄に、住所・氏名・生年月日・学部・学科・卒業年を記入してください。
※後日会報にご芳名を掲載するため、匿名および寄付金額の非公表をご希望の方は、その旨ご記載ください。
※目標額を上回るご協力があった場合は、会の収入として大切にさせていただきます。

北海学園大学同窓会エンブレム（復刻版）を制作します



胸ポケットに装着するタイプです
サイズ H 90mm×W 102mm
裏面タイタック三箇所留め
モール刺繍加工・化粧箱入り

同窓会創立70周年（令和6年度）を記念して、エンブレムを製作いたします。

ご希望される方は、同封の注文書にて、FAX または メール でお申込みください。

【委託先】

札幌トロフィー株式会社
北海道札幌市清田区清田3条1丁目2番10号
TEL. 011-885-8910
FAX. 011-885-8892
✉ sapporo_trophy@nifty.com

思い出の写真・資料を事務局宛てにお寄せください

同窓会では、短大開設の1950（昭和25）年以降の写真・資料を整理し、「北海学園大学同窓会デジタルアーカイブス」の作成を進めております。

皆様のお手元に、本学由縁の貴重な写真・資料がありましたら下記の要領にてお寄せください。

ご提供にあたり、①提供者名の記載またその公開の可否、②撮影場所、③いつ頃（時期）
④キャプション（説明書き）をお願いします。

なお、個人情報を保護するため、画像を加工して掲載する場合があります。
ご協力をお願いいたします。

作曲家 彩木雅夫さん お別れの会

本学新学生歌「北の都に」を作曲された日本を代表する作曲家で本学経済学部1部経済学科昭和31年卒業の彩木雅夫(本名 新居一芳)さんが2022(令和4)年9月16日に逝去されました。お別れの会が11月3日札幌パークホテルにて開催され、同窓会から関寛会長が参列しました。

学生時代は軽音楽部を結成して独学で作曲を学び、1966(昭和41)年北海道放送(HBC)のディレクター時代に「愛の終りに」で作曲家としてデビュー。「長崎は今日も雨だった」、「なみだの操」など数々のヒット曲を世に送り出しました。近年は、まさP名義で音声合成ソフトを使用した曲を発表し、2014年(平成26)年には81歳で「初音ミク」を使ったアルバム「手紙—The Letter—」をリリースして話題となりました。50年以上の活動で世に送り出した曲は200曲以上になります。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



2022(令和4)年 秋の叙勲

瑞宝小綬章受賞

松尾 直樹 氏

法学部1部法律学科第3期・
昭和44年卒業

元神奈川県警本部生活安全部長



※事務局にご連絡いただいた方を掲載しております。

役員退任のお知らせ

幹事 片桐 理 氏

2022(令和4)年10月17日付

1994(平成6)年より本会の運営に尽力、貢献されました。

長きにわたり大変お疲れ様でございました。

卒業アルバム頒布販売のお知らせ

同窓生の皆様で卒業アルバムをお持ちでない方のために、在庫のバックナンバー(1988年～2022年)と本年の卒業アルバムを頒布販売いたします。

ご希望の方は下記の制作担当、株式会社ラボットまでお問い合わせください。在庫僅少の年度もありますので、ご希望に添えない場合はご容赦ください。

価格 14,000円～18,000円

◇株式会社ラボット 北海学園大学アルバム係

TEL.FAX. 011-815-5307 メールアドレス hgu_album@labbott.co.jp



食糧支援プロジェクト

コロナ禍で仕送りやアルバイト収入が減った学生に少しでも経済的支援ができたらとの思いで、大学では2020（令和2）年12月から食糧支援を継続して行っています。

2022（令和4）年12月18日（日）、豊平キャンパス学生食堂にて第9回目が開催され、同窓会も4回目となるお手伝いで92万円分のお米を提供しました。

受け取った学生から「この度は、北海学園大学生のために食糧支援をしていただき、誠にありがとうございます。一人暮らしをしている私には、とても有難い支援です」と感謝の言葉が寄せられました。

学園オープンラウンジ完成



ニトリ製品でレイアウトされた2階の様子

昨年秋、教育会館（豊平キャンパス）2階を「学園オープンラウンジ」としてリニューアルしました。学生の自習、飲食、休憩などに利用できるスペースで、9月20日のオープン以来、毎日多くの学生が訪れています。



カフェ風にアレンジされた中3階の様子

クラブ・サークル活動通信 卒業生、サークルOB・OGの皆さん、応援よろしくお願いします！

【よさこいソーランチーム 粋～IKI～北海学園大学】

代表 伊藤 史華 経済学部地域経済学科 2年

粋～IKI～北海学園大学は、今年でチーム結成26年目を迎えました。現在は、1年生から4年生まで計63人で活動しています。また、昨年開催された第31回YOSAKOIソーラン祭りではファイナル出場を果たし、優秀賞を受賞することができました。

近年のコロナ禍では、対面で練習が行えなかったため、オンラインで全体の練習を行っていた時期があったり、YOSAKOIソーラン祭りを含め多くのイベントも実施されず、思うように活動できない日々が続いていました。ですが、昨年は3年ぶりにYOSAKOIソーラン祭りも開催され、様々な地方演舞にも参加しながら、充実した毎日を過ごすことができました。少しずつですが、コロナ以前のような活動ができていることを嬉しく思います。

現在は、第32回YOSAKOIソーラン祭りに向け、チーム全員で日々の練習に励んでいます。このように活動ができているのも、いつも応援してくださり、支えてくださるOB、OGの方々や卒業生の皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございます。これからもチーム一同精一杯頑張ってお参りますので、引き続き応援の程よろしくお願いいたします。





拉麺いそじ

札幌市豊平区月寒東5条18丁目8-16
電話 011-853-7575

磯 義司 さん

法学部1部法律学科
第22期・昭和63年卒業

40歳を機に独立してお店をオープンし17年が経ちました。もともと実家が美唄でラーメン店をやっていたので、大学卒業後は飲食業で働きたいと思っていました。飲食にも事業を拡大していた小樽の北一硝子に就職したのが、社会人生活の始まりです。

そこでマネジメントを学び、いずれ自分でラーメン店を開こうと、札幌の名店「けやき」さんなどで修行しました。試行錯誤を繰り返しながら、中太の縮れ麺による味噌ラーメンをベースにして、自分ならではの味を作り上げてきました。

店内はカウンター、小上がり、テーブル席と幅広い客層に対応しており、Facebookをはじめ各種SNSで情報発信をしています。北海学園大学の同窓からは、メニューのヒントをもらったり、常連になってくれたりと、ずっと応援していただいています。これからも、この味をていねいに作り続けていきたいと思ひます。



営業時間：11時～15時、17時～20時
(月・火はお昼のみ営業)

定休日：毎週水曜日、第1・第3火曜日

駐車場：5台



Facebook



instagram



Twitter

「学園オリジナルワイン」 今年も発売



鮮やかな色が特徴のスパークリングロゼ

2022年12月に行われた学内予約受け渡しの様子



工学部生命工学科では八剣山ワイナリー(亀和田俊一社長・札幌市南区)と連携し、小山芳一教授が中心となってワインプロジェクトを進めてきました。2022(令和4)年度も赤・白・スパークリングロゼの3種のワインを醸造、これらのワインは生命工学科の研究により八剣山ワイナリーのブドウ畑から単離・選抜されたオリジナルワイン醸造好適酵母HGU-140が使用されています。昨年12月にはスパークリングロゼワインが完成、学内予約受け渡し会を行いました。3月には赤ワインおよび白ワインの完成を予定しています。詳細は学園オリジナルワインホームページをご覧ください。
<https://hguwine.wixsite.com/mysite-1>

支部だより(支部総会写真)

2022(令和4)年8月以降実施分

南区支部(8.20)

8月20日(土)、真駒内幼稚園に於きまして感染対策を徹底した中、3年ぶりに対面での総会を開催いたしました。本部より関新会長、顧問の船橋参議院議員、丸岩道議のご出席を賜り、議案はすべて原案どおり承認されました。総会終了後、参加者全員より近況報告があり和やかな雰囲気の中終了いたしました。



関西支部(11.26)

11月26日土曜日の夕刻、大阪梅田はコロナ禍8波入口にもかかわらず若い人たちがゴッタ返す混雑の中、梅田東通り商店街に異様に映る12名の集団現る。そうです、北海学園大学同窓会関西支部の面々が続々と、ある人はオシャレにループタイ!、そしてある人は普段着のジーパン姿でと、社会に出て流れながれて関西まで降るとこんな感じに変貌を遂げるのです。

今回20年振り?くらいになるか女性が参加して紅一点! コッパカイ? [木端会]からの賓客、白代表の関会長を筆頭に澤名誉支部長以下3年振りの同窓会。

コロナ禍で中村名誉支部長や往年のメンバーを欠きましたが、17年振りと10年振りのメンバーとの再会、旧知来阪は嬉しい限りですね。元気な長老90歳の浦中先輩は、親爺の歳で[山]を付けたくなりますよ千秋庵。



2019年6月の現理事長の来阪時より3年振りに8名が二次会へ。人生90年になるうかの今日この頃にタッタ4年間(中に7年間)お世話になった学園の学び、それも年代はバラバラだが何故か昔からの先輩後輩を醸し出す面々、来年梅雨時に梅田で再会を!のエールでお開きいたしました。つづく! 支部長 大久保 明男

豊陽会(1.11)

本部より日和副会長と木村事務局長にご臨席を賜り、研修会と教育懇談会を開催いたしました。

足元が悪い中ではありますが、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じ、今年は役員のみへの案内という形で人数を厳選して実施しました。

3年ぶりの対面での開催ではありませんでしたが、木村様から大学の近況を伺い、母校の発展に胸を熱くし、社会に羽ばたく後輩の受け皿としての私たちの役割の重さを確認したところです。



◆支部長交代

会計学友会 書面開催(8月)

釧路支部 2022(令和4)年11月16日付(評議員兼務)

花井 紀明氏 → 濱屋 宏隆氏(経済学部1部経済学科 第40期・平成5年卒業)

支部現況・連絡先 [2023(令和5)年3月現在]

五十音順

地域

旭川支部 / 支部長 齋藤 昂一(昭44経)
〒071-8132 旭川市末広2条15丁目9-6
TEL:0166-57-4436
E-MAIL:koichi-s.1946@docomo.ne.jp

江別支部 / 支部長代行 本間 顯一(昭44短大)
(事務局)事務局長 / 村松 光男(昭51法)
〒067-0061 江別市上江別東町14-2 札幌建設工業(株)内
TEL:011-382-2240
E-MAIL:satsuyo@muse.ocn.ne.jp

小樽支部 / 支部長 山本 忠広(昭53営)
(事務局)事務局長 / 島口 利一(昭49経)
〒047-0155 小樽市望洋台1丁目3-18
TEL:0134-54-8018

関西支部 / 支部長 大久保 明男(昭53経)
〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町525-8サン・レスポアール309号
TEL:075-921-4312
E-MAIL:okubo_akiyo@icloud.com

北見支部 / 支部長 小林 博(昭52経)
(事務局)会計 / 爲近 零央(平16経)
〒090-0834 北見市とん田西町320-4-302
TEL:090-5078-6947

釧路支部 / 支部長 濱屋 宏隆(平5経)
(事務局)幹事長 / 市原 義久(昭61法)
〒084-0914 釧路市西港1丁目100-17
釧路市水産港湾空港部
TEL:0154-53-3371
E-MAIL:yoshihisa.ichihara@city.kushiro.lg.jp

札幌東区支部 / 支部長 佐藤 寿一(昭48経)
〒065-0023 札幌市東区北23条東16丁目4-20
TEL:011-783-0317
E-MAIL:j-satoh@dohkoh.jp

札幌南区支部 / 支部長 五味川 博都志(昭47法)
(事務局)事務局長 / 横田 取(昭46経)
〒005-0832 札幌市南区北 / 沢8丁目7-34 ごまそば五味内
TEL:011-572-3900
E-MAIL:hgu.minamiku@gmail.com

静内支部 / 支部長 田代 芳嗣(昭49経)
(事務局)田代 一樹(平20営)
〒056-8650 日高郡新ひだか町静内御幸町3丁目2-50
新ひだか町役場内
TEL:0146-43-2111

空知支部 / 支部長 小川 朋栄(平10経)
〒074-0011 深川市緑町5-8
TEL:0164-22-1236
E-MAIL:tomohide.ogawa@mbj.nifty.com

千歳支部 / 支部長 石塚 雅樹(昭56建)
〒066-0027 千歳市末広1丁目7-12
TEL:090-8896-8753
E-MAIL:m_ish0611@yahoo.co.jp

東京支部首都圏会 / 支部長 岩井 久則(昭47法)
〒344-0032 埼玉県春日部市備後東2丁目5-46
TEL:090-1407-7689
E-MAIL:rockwellhnr@yahoo.co.jp

東北支部陸奥会 / 会長 村上 一彦(昭56経)
〒981-0911 宮城県仙台市青葉区台原4丁目9-25
TEL:090-1060-5567
E-MAIL:sendai@murakamikazu.com

道南支部 / 支部長 福田 和夫(昭34経)
(事務局)幹事 / 堀内 博志(昭52土)
〒041-0851 函館市本通1丁目48-37
TEL:0138-56-2233
E-MAIL:horii5623@msc.ncv.ne.jp

十勝支部 / 支部長不在

苫小牧支部 / 支部長 森 幹弘(昭49法)
(事務局)事務局長 / 谷口 孝朗(昭41経)
〒053-0833 苫小牧市日新町4丁目1-4-405号
TEL:0144-72-3315
E-MAIL:tt1919@juno.ocn.ne.jp

根室支部 / 支部長 端 明彦(昭45営)
(事務局)事務局長 / 石田 和仁(昭40経)
〒086-1006 標津郡中標津町東6条南8丁目18
TEL:0153-72-9292

室蘭支部 / 支部長不在

留萌支部 / 支部長不在

稚内支部 / 支部長 吉田 孝史(昭47経)
(事務局)事務局長 / 熊谷 幹男(平6経)
〒097-0017 稚内市栄1丁目18-13
TEL:0162-33-7582
E-MAIL:mi-kumagai@city.wakkanai.hokkaido.jp

職域

石狩市役所支部 / 支部長 安崎 克仁(昭62経)
〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目30-2 石狩市役所内
TEL:0133-72-3111

伊藤組土建支部 / 支部長 新田 幸洋(平3建)
(事務局)評議員 / 小須田 一馬(平13営)
〒060-8554 札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤組土建(株)内
TEL:011-241-8297
E-MAIL:kosuda@itogumi.co.jp

岩田地崎建設支部 / 支部長 宮川 功(昭58経)
(事務局)事務局長 / 行方 和夫(平3営)
〒060-8630 札幌市中央区北2条東17丁目2 岩田地崎建設(株)内
TEL:011-221-2221
E-MAIL:k-namekata@iwatachizaki.jp

岩見沢市役所支部 / 支部長 相河 学(昭63経)
(事務局)副幹事長 / 高瀬 正浩(平9経)
〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1-1
岩見沢市役所企画財政部企画室内
TEL:0126-23-4111(内線424)
E-MAIL:takasedb@i-hamanasu.jp

恵庭市役所支部
〒061-1498 恵庭市京町1番地 恵庭市役所内
TEL:0123-33-3131

江別市役所支部 / 支部長 佐藤 民雄(昭62土)
(事務局)事務局長 / 東 嘉一(平7法)
〒067-8674 江別市高砂町6
江別市役所健康福祉部子育て支援室
TEL:011-381-1408

帯広信用金庫支部 / 支部長 阿部 秀男(昭63経)
(事務局)幹事長 / 綱嶺 博之(平5営)
〒080-8701 帯広市西3条14丁目1-1中央支店ビル1階
帯広信用金庫内
TEL:0155-65-0171

北広島市役所支部 / 支部長 山田 基(平4土)
〒061-1192 北広島市中央4丁目2-1
TEL:011-372-3311
E-MAIL:m.yamada@city.kitahiroshima.lg.jp

札幌市役所支部 / 支部長 加藤 修(平元経)
(事務局)幹事長 / 川村 満(平8営)
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
札幌市議会事務局内
TEL:011-211-3166
E-MAIL:mitsuru.kawamura@city.sapporo.jp

自衛隊支部 / 支部長 浅田 哲治(昭59法)
〒005-0011 札幌市南区真駒内東町1丁目10-34
TEL:090-8274-0745
E-MAIL:morning087743@s8.dion.ne.jp

つうけん支部 / 支部長 白崎 智(平3営)
〒061-3208 石狩市花川南8条5丁目32-1
つうけん花川ビル(株)つうけん内
TEL:090-1521-6882
E-MAIL:shira3104@sky.plala.or.jp

東園会 / 支部長 武田 一樹(昭58経)
〒003-0001 札幌市白石区東札幌1条1丁目1-7
北海道東急ビルマネジメント(株)内
TEL:011-376-1092
E-MAIL:kazuki.takeda@h-tokyu-bm.co.jp

道庁支部(うしお会) / 幹事代理 根津 渉(昭52経)
〒060-0005 札幌市中央区北5条西9丁目17-8
TEL:080-1895-8592

豊陽会(教職) / 会長 元紺谷 尊広(昭61法)
(事務局)事務局長 / 高橋 昌宏(平7法)
〒002-8504 札幌市北区屯田9条7丁目 北海道有朋高等学校内
TEL:090-4874-5278
E-MAIL:senkon@hokkaido-c.ed.jp

北海学園大学支部 / 支部長 藤井 勝彦(昭62経)
〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 北海学園大学内
TEL:011-841-1161
E-MAIL:fujii-ka@hgu.jp

リコージャパン支部 / 支部長 鈴木 紳一(平元営)
〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目8-1
リコージャパン(株)北海道支社内
TEL:011-700-2200
E-MAIL:shinichi_c_suzuki@jp.ricoh.com

その他

応援団OB尚志会 / 会長 武市 憲一(昭45法)
(事務局)事務局長 / 黒田 健一(昭57営)
〒064-8560 札幌市中央区南8条西15丁目2-1
道路工業(株)内
TEL:011-561-2251
E-MAIL:kn_kuroda@dorokogyo.co.jp

会計学友会 / 会長 照井 俊夫(昭36経)
(事務局)事務局長 / 齋藤 勝宏(昭35経)
〒001-0030 札幌市北区北30条西8丁目1-3
TEL:011-708-8088

グリークラブOB会 / 会長 辻井 久幸(昭54法)
〒003-0023 札幌市白石区南郷通19丁目北2-20-501
TEL:011-866-9035
E-MAIL:h-tujii@mrj.biglobe.ne.jp

木端会(建築学科OB) / 会長 岡田 貴裕(平元建)
(事務局)幹事長 / 引地 俊一(昭57建)
〒002-8074 札幌市北区あいの里4条5丁目27-8
TEL:080-3293-9335
E-MAIL:koppakai@gmail.com

サッカー部OB会 / 会長 阿波 昭則(昭52経)
〒067-0075 江別市向ヶ丘5-41
TEL:011-384-2737
E-MAIL:award28@zj8.so-net.ne.jp

山岳部OB会 / 会長 名越 茂(昭49経)
〒062-0001 札幌市豊平区美園1条6丁目3-1
(株)北海道キャラバン内
TEL:011-822-8664
E-MAIL:hcaravan@jeans.ocn.ne.jp

写真部OB会 / 会長 藤森 哲司(昭47経)
〒004-0021 札幌市厚別区青葉町8丁目2-10
TEL:011-892-7183

北翔会(技術士団体) / 会長 大谷 高志(昭58土)
〒002-8073 札幌市北区あいの里3条5丁目16-37
TEL:090-6269-8452
E-MAIL:6478mizs@jcom.zaq.ne.jp

北社会(短期土木科・土木工学科・社会環境工学科OB)
会長 山越 明博(昭57土)
(事務局)幹事長 / 三國 義晃(昭61土)
〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目3
パークイースト札幌6F 総合技研(株)内
TEL:011-223-0091
E-MAIL:tmk200@docon.jp

ゆうほう会(法学部OB) / 会長 板垣 俊夫(昭46法)
(事務局)幹事長 / 村口 康博(昭51法)
〒004-0847 札幌市清田区清田7条4丁目11-70
TEL:011-884-3894
E-MAIL:orawa_himekono_papa@yahoo.co.jp

経三期会(昭和31年卒) / 会長 土井 二郎(昭31経)
〒063-0827 札幌市西区発寒7条14丁目6-23
TEL:011-661-4401

経五期会(昭和33年卒) / 会長 藤野 直也(昭33経)
〒062-0932 札幌市豊平区平岸2条9丁目1-26-707
TEL:011-814-6010

経六期会(昭和34年卒) / 会長 土橋 舜平(昭34経)
(事務局)事務局長 / 桑山 博年(昭34経)
〒063-0053 札幌市西区宮の沢3条2丁目2-6
TEL:011-665-1351

経八期会(昭和36年卒) / 会長 田中 眞(昭36経)
〒001-0911 札幌市北区新琴似11条9丁目5-3
TEL:011-764-9162

蝸牛会 / 会長 渡邊 高彦(昭41経)
(事務局)事務局長 / 梅本 成利(昭57経)
TEL:090-3898-2791

地域 20 支部 その他 15 支部
職域 16 支部 【合計 51 支部】

事務局からのお知らせ

◆訃報

熊本 信夫 先生

本学名誉教授
本学第7代学長
昭和42年4月本学法学部講師
昭和49年4月本学教授
平成8年11月第7代学長に就任、2期8年余務める
2022(令和4)年10月6日逝去(86歳)

北口 彰 氏

江別市役所支部元支部長(平成14年~平成20年)
法学部I部法律学科第6期・昭和47年卒業
2022(令和4)年3月13日逝去(72歳)

田鎖 英晴 氏

北海学園大学支部元支部長(平成15年~平成16年)
経済学部II部経済学科第19期・昭和50年卒業
2022(令和4)年10月21日逝去(74歳)

林田 秀二 氏

道南支部前支部長(昭和61年~平成3年)
経済学部I部経済学科第3期・昭和31年卒業
2022(令和4)年12月22日逝去(89歳)

長尾 晃 氏

卒業期評議員(平成19年~令和4年)
経済学部I部経済学科第11期・昭和39年卒業
2022(令和4)年8月4日逝去(80歳)

大宗 久 氏

卒業期評議員(平成11年~令和4年)
法学部II部法律学科第4期・昭和45年卒業
2022(令和4)年9月16日逝去(88歳)

彩木 雅夫(本名新居 一芳) 氏

歌謡曲「長崎は今日も雨だった」、「なみだの操」などの作曲家
北海学園大学新学生歌「北の都に」作曲
経済学部I部経済学科第3期・昭和31年卒業
2022(令和4)年9月16日逝去(89歳)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



◆ホームページリニューアルのお知らせ

同窓会「豊平会」のホームページが3月にリニューアルされました。

同窓会行事のお知らせ、支部の紹介・活動報告、活躍する卒業生などを紹介しております。

是非ご覧いただきますよう、よろしく願いいたします。

リニューアルに伴いURLが変更されました。

<https://dousou.hgu.jp/>



◆『豊平会報』リニューアルのお知らせ

『豊平会報』第90号はいかがでしたでしょうか。今号より全ページ横書き、左開きにリニューアルし、文字もできる限り大きく掲載するようにしました。

活躍する卒業生、現役学生、大学の近況など、今後も充実した紙面をお届けできるよう努めてまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

なお、会報のバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

住所変更の際はご連絡をお願いします

お手数でも同封の「住所等変更届はがき」(無料)、ホームページ(<https://dousou.hgu.jp/>)、E-Mail(doso.hgu@k8.dion.ne.jp)、FAX(011-816-1001)にてお知らせくださいますようお願いいたします。また、旧番地表記のため返還されるケースが増えております。住居表示の変更につきましても上記のいずれかでご連絡をお願いいたします。その他のご連絡、会報が不要な方は通信欄にご記入をお願いいたします。会報の発送作業の関係上、変更が間に合わない場合がございますので予めご了承ください。個人情報同窓会活動以外には使用いたしません。

北海学園大学同窓会

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40
TEL: 011-841-1161 (内線1148・1168)
FAX: 011-816-1001
E-Mail: doso.hgu@k8.dion.ne.jp
ホームページ: <https://dousou.hgu.jp/>



「筒浦 明先生」
教養部教授(昭和40年~平成2年)
少林寺拳法部初代部長

梅本 成利 作
経済学部I部経済学科第29期・昭和57年卒業